

**天皇賜杯 第73回日本学生陸上競技対校選手権大会  
兼 第28回オリンピック競技大会代表選手選考競技会**

**要項**

1. 主 催 社団法人 日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟 東京陸上競技協会
3. 協 賛 ミズノ株式会社
4. 協 力 シチズン時計株式会社 サントリー株式会社 東日本旅客鉄道株式会社
5. 期 日 平成16年7月2日(金)・3日(土)・4日(日)
6. 場 所 国立霞ヶ丘競技場  
〒160 0013 東京都新宿区霞ヶ丘町10  
神宮外苑周回コース(ハーフマラソン)  
(ハンマー投)
7. 競技種目 男子23種目  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m ハーフマラソン 110mH 400mH  
3000mSC 4×100m 4×400m 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投  
円盤投 ハンマー投 やり投 十種競技
- 女子21種目  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH  
4×100m 4×400m 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投  
ハンマー投 やり投 七種競技
8. 出場資格 1)平成16年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。  
2)平成15年1月1日より申し込み期日前日までに、別紙の標準記録に達した者で以下の条件を満たした場合は1校につき3名まで出場できる。  
3) a. 各種目、当該年度の地区IC優勝者および北日本IC、西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者1校1名(1チーム)まで出場できる。(同校に地区IC優勝者、北日本IC・西日本IC優勝者と標準記録Bに達した者がいた場合は、いずれか1名とする。)  
b. a項に加え、標準記録Aに達した者がいれば、更に、2名出場までできる。ハーフマラソンおよび競歩については、標準記録Bに達した者は更に、2名まで出場できる。(下図参照のこと)
- |                    |   |   |
|--------------------|---|---|
| 1) ハーフマラソン・競歩以外の種目 |   |   |
| B                  |   |   |
| B                  | A |   |
| B                  | A | A |
|                    | A |   |
|                    | A | A |
|                    | A | A |
|                    | A | A |

2) ハーフマラソン・競歩		
B		
B	B	
B	B	B
- 地区ICおよび北日本IC・西日本ICの  
優勝者はB標準突破者と同様の扱いとする。
- c. リレーについては平成16年度登録競技者の編成による記録でなければならない。
- 4) 4×100m、4×400mは、1校1チームとし6名連記できる。  
5) 同一人の出場種目数の制限はない。
9. 参加料 出場者1種目1名につき2000円、リレーは1チーム3000円とする。

10. 申込期日 平成 16 年 月 日 (地区学連締切日)
11. 申込方法
- 1) 各大学は、地区学連の指定期日までに下記の書類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。また、FAX、電話等による申し込みは一切受け付けない。
  - 2) 地区学連は、加盟大学の書類を取りまとめの上、平成 16 年 6 月 14 日 (月) 12 時までに大会事務局に必着のこと。

申込書類	団体申込一覧表	様式 1	3 部
	個人申込書	様式 2	1 部
	リレー申込書	様式 3	1 部
	種目別一覧表	様式 4	1 部
  - 3) ハーフマラソン出場者は、必ず健康に関する誓約書 (様式 5) を添付して申し込むこと。
  - 4) 参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は各地区学連のものとする。
  - 5) 送り先

〒150 0001 東京都渋谷区神宮前 2 13 16 リ・プラージュ神宮前 1F  
社団法人 日本学生陸上競技連合 宛

TEL 03 3404 4990  
FAX 03 3404 0209
12. 得点方法 各種目とも、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、4 位 5 点、5 位 4 点 6 位 3 点、7 位 2 点、8 位 1 点 とする。
13. 式典 開会式 7 月 2 日 (金) 11 時  
閉会式 7 月 4 日 (日) 競技終了後
14. 表彰 1) 男子総合優勝校には天皇賜杯、女子総合優勝には秩父宮妃杯を授与する。
15. 監督・代表者会議 平成 16 年 7 月 1 日 (木) 15 時より国立競技場大会議室にて行う。  
プログラム、ナンバーカード他関係書類を交付し、注意事項連絡、プログラム訂正を行う。(指導責任者は必ず出席のこと) なお、この会議において棄権を申し出た場合はこれを承認する。
16. 宿泊 宿泊については東急観光 (株) が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を参照のこと。  
(所属学連に問い合わせのこと)
17. 注意事項
- 1) すべての競技は平成 16 年度本連合の定めた競技規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
  - 2) やむなく棄権する場合は棄権届を提出すること。但し、届けた種目に限り棄権とする。
  - 3) 各大学の部長 (1 名) 監督 (1 名) コーチ (若干名) マネージャー (エントリー選手 10 名につき 1 名) トレーナー (本連合が認めた者) および選手は本連合が定める ID (代表者会議において配布) により更衣室への入場を認める
  - 4) 用器具は、主催者の用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポールは各自で用意し、各自の責任において輸送すること。やりは各自で用意してもいいが、その場合も各自の責任において輸送すること。ポールは競技開始前に跳躍場、やりは招集時刻 1 時間前に器具庫で各々検定を受けて、許可されたものでなければ使用できない。
  - 5) 計時はトラック競技全種目電気計時 (1 / 100 秒) で行う。
  - 6) 5000m、10000m、競歩の給水については天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する場合がある。(ハーフマラソンについては給水を行う)
  - 7) ハーフマラソンは国立霞ヶ丘競技場発着の神宮外苑周回道路において行う。各大学の応援についても秩序ある行動と社会通念上の配慮を指導すること。
  - 8) ハンマー投 (予選、決勝) は\_\_\_\_\_で行う。
  - 9) 練習は国立競技場ランプ下走路と東京体育館陸上競技場を使用できる。
  - 10) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。
  - 11) 各大学は開・閉会式の際、部旗を 1 旗用意すること。なお、優勝校 (男子、女子) は校歌を吹奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。

天皇賜杯 第73回日本学生陸上競技対校選手権大会  
標準記録

	男子		女子	
	標準記録 A	標準記録 B	標準記録 A	標準記録 B
100m	<u>10.54</u>	10.64	12.20	12.35
200m	21.20	21.60	25.00	25.50
400m	47.00	47.50	56.30	57.50
800m	1.51.5	1.53.0	2.13.0	2.15.0
1500m	3.50.0	3.53.0	4.30.0	<u>4.35.0</u>
5000m	14.05.0	<u>14.12.0</u>	5000m 16.20.0	3000m 9.30.0 5000m 16.45.0
10000m	29.00.0	29.35.0	10000m 34.20.0	3000m 9.35.0 5000m 16.50.0 10000m 35.30.0
ハーフマラソン (21.0975Km)		10000m(10km) 30.00.0 20000m(20km) 62.30.0 ハーフマラソン <u>66.00.0</u>		
100mH			14.30	14.80
110mH	14.40	14.60		
400mH	<u>51.40</u>	52.20	62.00	63.00
3000mSC	8.55.0	<u>9.01.0</u>		
4×100m		41.10		48.40
4×400m		3.13.00		4.00.00
10000mW		5000mW <u>22.00.0</u> 10000mW <u>45.00.0</u> 20kmW 1.37.00.0		5000mW <u>25.30.0</u> 10kmW 55.00.0
走高跳	2.16	2.10	<u>1.72</u>	<u>1.67</u>
棒高跳	5.15	5.00	3.50	3.20
走幅跳	7.60	7.45	5.90	5.75
三段跳	15.50	<u>15.30</u>	12.20	11.80
砲丸投	15.20	14.20	13.40	12.60
円盤投	46.00	44.00	45.00	42.00
ハンマー投	<u>58.00</u>	<u>56.00</u>	42.00	39.00
やり投	70.00	66.00	48.00	46.00
七種競技			4600	4400
十種競技	6900	6700		

(注) 十種競技については、標準記録に達していても棒高跳3m以上の実績のある者とする。

手動時計の記録は100m、200m、100mH、110mH、においては0.24秒、400m、400mH、  
4×100mにおいては0.14秒足した記録が上記標準記録に達した者に参加資格がある。

72回大会と変更のあった箇所にはアンダーラインを引いている。